

確かな学力の育成に向けて

岩手県教育委員会では、子どもたちに新たな時代を切り拓くための「確かな学力」を育成していくために、「つまずきを生かした一人ひとりを伸ばす授業改善」を重点目標に、学校の組織的な対応の強化を目指し、「確かな学力育成プロジェクト」を推進しています。その中で、とくに今年度は、児童生徒の学習活動と教師の指導改善の充実につながる「指導と評価の一体化」を実現することを、学校教育全体における重点にしています。このことを踏まえ、各種研修会等では、以下に示すような考え方を共有できるように進めています。

指導と評価の一体化のための学習評価

学習評価の改善の基本的な方向性

- ✓ 教師の指導改善につながるものにしていくこと
- ✓ 児童生徒の学習改善につながるものにしていくこと
- ✓ これまで慣行として行われてきたことでも、必要性・妥当性が認められないものは見直していくこと

学習評価の在り方ハンドブック 小・中学校編
(文部科学省 国立教育政策研究所)

評価場面等の精選を

学習評価の基本的な進め方

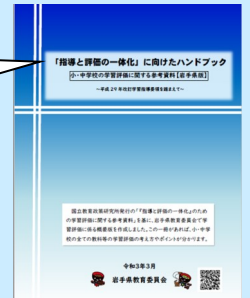
- ①単元の目標を作成する
- ②単元の評価規準を作成する
- ③指導と評価の計画を作成する
【ポイント1～評価の観点の精選】
毎回の授業で全ての観点を評価するのではなく、単元や題材のまとまりの中で、指導内容に照らし、重点として評価する観点を適切に位置付ける。
【ポイント2～記録の必要性のある評価の精選】
児童・生徒の学習状況を確認（記録に残さない）し、指導の改善に生かすことに重点を置く場面と、その実現状況を把握し記録に残す場面を設定する。
- ④観点ごとに総括する

学校全体での組織的かつ計画的な取組を

- ・教師同士での評価規準や評価方法の検討、明確化
- ・実践事例の蓄積・共有
- ・評価結果の検討等を通じた教師の力量の向上
- ・校内組織（学年会や教科等部会等）の活用

「指導と評価の一体化」に向けたハンドブック (岩手県教育委員会)

「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」を基に、岩手県教育委員会が学習評価に関する概要版を作成しました。小中学校の全ての教科等の学習評価の考え方やポイントが分かります。ホームページからダウンロードして活用ください。



今年度の各種研修会等

令和3年度 管内小・中学校研究主任研修会 R3.4.27 (奥州市役所 江刺総合支所)

☆内容

- 講義①「基本的な研究の進め方と研究主任の役割」
講義②「『指導と評価の一体化』のための学習評価」
講義③・協議
「『確かな学力育成プラン』の効果的な活用」

【先生方の感想から】

- ・研究主任として、学習評価の正しい理解を共有する機会を中心になって作っていきたくと思った。
- ・「組織的に」行うことが大切だと改めて感じた。複数の目で、定期的に検証、改善していく場の設定が必要だと思った。
- ・岩手県版のハンドブックを今後活用していきたい。

令和3年度 教育課程岩手県地区別協議会（県南地区） R3.8.2/8.3 (奥州市立前沢中学校) 小学校 279名 中学校 140名 参加

【先生方の感想から】

- ・「指導と評価の一体化」が資質・能力を高めるうえで大切であることが理解できた。
- ・単元の中でどの評価をどのように行うか意図的に考える必要性を強く感じた。
- ・他の先生方と評価についてもっと話し合い、適切に評価する力を高めたいと思った。
- ・評価に関して、自分の指導を振り返るためのという視点も非常に納得した。
- ・前提にはどんな力を付けていくかという目標設定が重要である。

【実施予定】

令和3年度
管内小・中学校
教務主任研修会
R3.11.30
(一関文化センター)

☆内容(予定)

- 講義①「令和4年度教育課程編成上の留意点」
講義②「学力調査の分析・活用による授業改善のあり方」
講義③「『指導と評価の一体化』のための学習評価」